

市立豊中病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	腹腔内汚染手術後の開放創および消化器外科手術後の表層 または深部切開創感染に対する陰圧閉鎖療法 (Negative Pressure Wound Therapy: NPWT) の有用性に関する前向き検 討
当院の研究責任者 (所属)	清水 潤三 (外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	AI のある NPWT 研究会の関連施設
本研究の目的と意義	創感染は入院期間の延長や医療費増大へと繋がります。これ まで陰圧閉鎖療法の効果に関する報告がいくつかありますが が、本研究では陰圧閉鎖療法の有用性を明らかにすることを 目的としています。
調査データ 該当期間	2017年1月から2018年12月末までの2年間
研究の方法	腹腔内汚染手術後の開放創および消化器外科手術後の表層 および深部切開創感染を発症した患者さんを対象として陰 圧閉鎖療法を行い、治療期間や費用などを従来法と比較調査 します。
試料/情報の他の研究機関 への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定でき る個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表 を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情 報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はあ りません
お問い合わせ先	担当者：市立豊中病院外科 野口 幸藏 電話：06-6843-0101
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不 利益な取り扱いを受けることはありません。

	<p>個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合は本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問い合わせ先までご連絡下さい。</p>
--	--